

1. 位置図



白井、白井田、白井台、白井田干拓、江原、江原新田、角来、角来江原新田入会、印南、八幡台1～3丁目、新白井田、江原台1～2丁目、王子台1～6丁目、南白井台、稲荷台1～4丁目

2. 地区の概況

【位置】
市の北西に位置し、北は印旛沼西部調整池を挟んで印西市と隣接する。印旛沼西部調整池に注ぐ東の鹿島川と西の手線川が地区境界となっている。

【地形・地勢】
印旛沼や河川沿いの低地と緩やかな台地からなる。かつて白井城が築かれた北部は旧成田街道の城下町・宿場町として発展し、旧市街地として今もその面影を残す。現在は京成電鉄の白井駅を中心に商業・業務施設が集まり市街地が形成されている。駅の郊外は山林・畑地に利用されていたが、昭和期に大規模な宅地化が進められ住宅地に変貌した。住宅地を囲む印旛沼や河川沿いの干拓地は水田が広がる。

【交通】
鉄道は、京成本線が東西に横断する。地区東部に白井駅があり、1日乗降人員は22,017人である。
道路は、東西方向に旧成田街道とほぼ重なる国道296号が地区中央を走る。また、南北方向には印西市と四街道市を結ぶ主要地方道64号(旧佐倉街道)が通過する。
旧成田街道沿線は道路が狭く、拡幅が課題となっている。

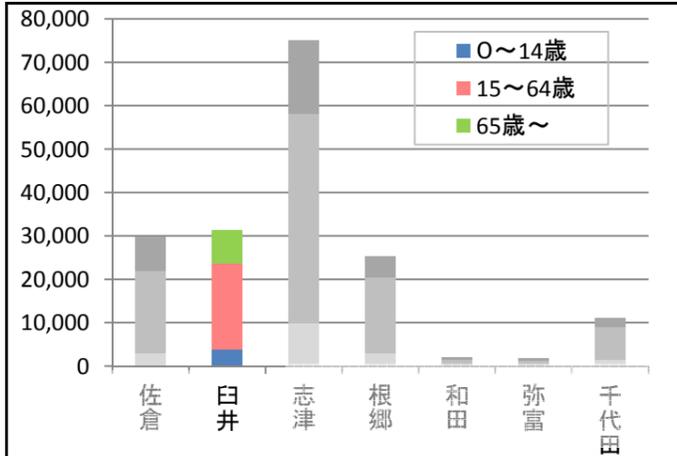
【人口・建物】
地区面積は、7地区中で6番目に大きく、人口密度は市平均より高い。年齢別の人口分布は市全体と同様である。地区内の老年人口(65以上の人口)の割合は24.5%で、市平均23.0%を上回っており、老年人口の割合が大きい地区である。
建物の構造分布は、市全体と同様である。地区内の新耐震基準以前の建物の割合は29%で、市平均28%を若干上回っている。

3. 人口指標

※平成23年12月末時点

	地区内	市全域
0歳～14歳	3,711人 (17%)	21,643人
15歳～64歳	20,042人 (17%)	114,059人
65歳～	7,701人 (19%)	40,486人
人口合計	31,454人 (17%)	176,188人
世帯数	12,940世帯 (18%)	71,464世帯
人口密度	3,121人/km ²	1,701人/km ²

年齢別人口(他地区との比較)

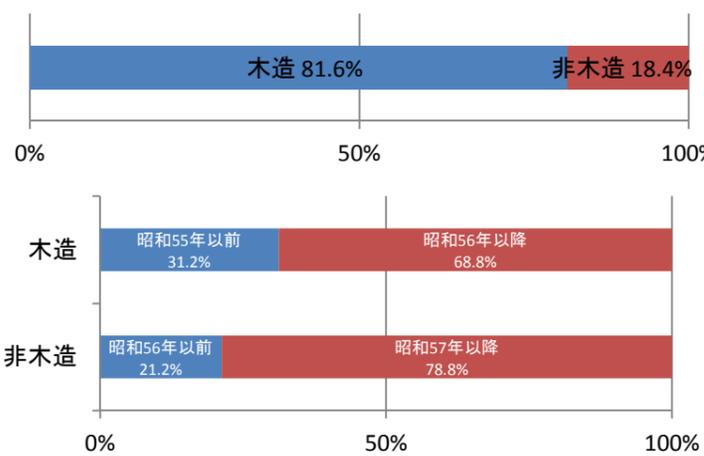


4. 建物指標

※平成24年1月末時点

構造	建築年	地区内	市全域
木造	～昭和55年	2,786棟 (19%)	14,467棟
	昭和56～	6,146棟 (18%)	33,376棟
非木造	～昭和56年	429棟 (19%)	2,175棟
	昭和57～	1,590棟 (18%)	8,416棟
合計		10,951棟 (18%)	58,434棟
老朽建物割合		29%	28%

木造・非木造割合



5. 避難施設

種類	施設名称	屋外面積 (m ²)	屋外収容可能人員	屋内面積 (m ²)	屋内収容可能人員
広域避難場所・避難所	佐倉市立印南小学校	11,294	3,765	1,656	407
	佐倉市立白井小学校	14,562	4,854	2,499	618
	佐倉市立白井西中学校	28,187	9,396	2,523	633
	佐倉市立白井中学校	12,592	4,197	2,694	683
	佐倉市立王子台小学校	9,351	3,117	2,353	588
	佐倉市立間野台小学校	9,421	3,140	2,290	572

6. 支部(地区連絡)

施設名	住所	予定場所
白井・千代田出張所	王子台1丁目16番地	市民音楽ホール内

7. 要援護者施設

施設名	
白井幼稚園	青葉保育園
白井たんぽぽ幼稚園	すみれ保育園
セントケアホーム佐倉苑	
みのりほーむ	
(学童)すみれにこにこホーム	
(学童)青葉児童ルーム	
おひさま保育園	
印南学童保育所	
白井保育園	
白井老幼の館	
王子台学童保育所	

9. 消防・警察

種類	施設名
消防署・分署	佐倉消防署角来出張所
消防団	第三分団・第七分団
警察	白井交番

10. 非常用給水施設

施設名	住所

11. 自主防災組織

※平成25年2月末時点

組織数	加入世帯数
17	6,757

12. その他防災施設

種類	地区内	市全域
防災行政無線(同報系)	14箇所	99箇所
ヘリコプター臨時離発着場	2箇所	17箇所
消防水利	83箇所	1,033箇所
防災井戸	7箇所	42箇所

8. 医療機関

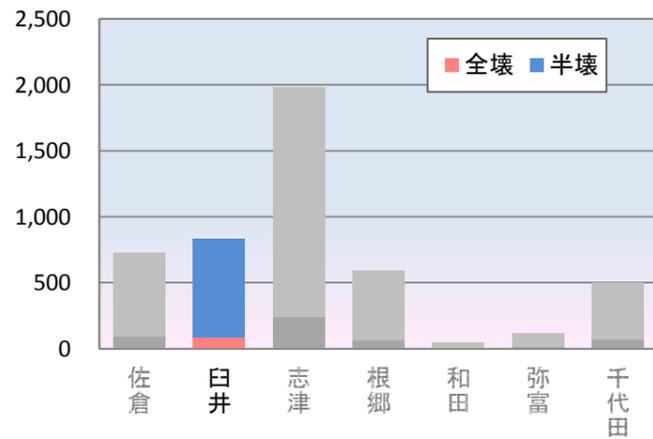
施設名	
休日夜間急病診療所	勝田訪問診療所(勝田台病院)
佐倉市健康管理センター	勝目クリニック
エルム耳鼻咽喉科クリニック	小林クリニック
こどもクリニックmom	聖隷佐倉市民病院
なめかわ内科クリニック	石井内科
はやし眼科白井クリニック	大地整形外科
白井にしざわクリニック	長岡産婦人科クリニック
王子台耳鼻咽喉科・眼科	長谷川皮膚科医院
岩崎外科	椎葉内科
穴戸内科医院	麗皮フ科・形成外科クリニック

13. 各種災害被害想定結果

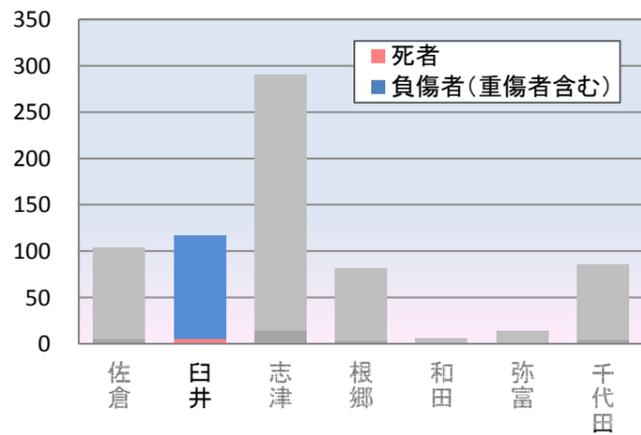
被害想定項目	被害数値 (当該地区)	被害数値 (市全域)
建物被害【全壊】	83 棟	563 棟
建物被害【半壊】	748 棟	4,231 棟
死者	5 人	35 人
負傷者(重傷者含む)	112 人	664 人
避難人口	5,783 人	33,006 人
避難所生活者数	3,759 人	21,454 人

※地震被害の想定地震は「東京湾北部地震(M7.3)」です。

想定される地震被害(全壊棟数・半壊棟数)



想定される人的被害(死者・負傷者(重傷者含む))

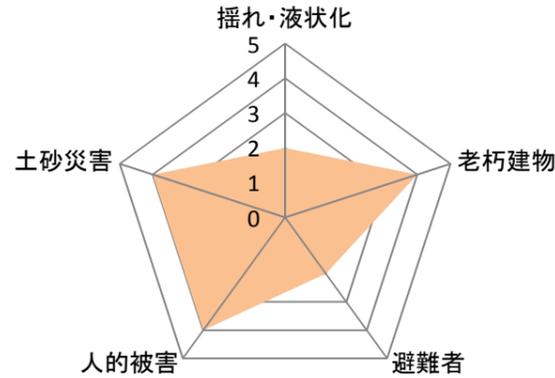


14. 土砂災害危険箇所等 ※平成25年3月時点

種類	地区内	市全域
土砂災害警戒・特別警戒区域	15箇所・14箇所	60箇所・58箇所
土砂災害危険箇所	42箇所	188箇所

15. 各種災害の評価

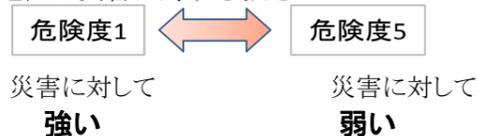
評価項目	数値	危険度
揺れ・液状化による建物全半壊率	7.6%	2
老朽建物密集度 昭和55年以前の木造建物の密集度	276棟/km ²	4
避難充足率 屋内収容人数合計/避難所生活者数	93%	2
人的被害 死者・負傷者(重傷者含む)の合計	117人	4
土砂災害の影響を受ける可能性のある建物戸数	161戸	4



■表・グラフの見方

被害想定調査の主要な結果にもとづいて各項目ごとに地区の災害特性を順位付けしたものです。「1」が災害に対して最も強く、「5」が最も弱いことを表しています。グラフの五角形の面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

■地区の災害に対する強さ

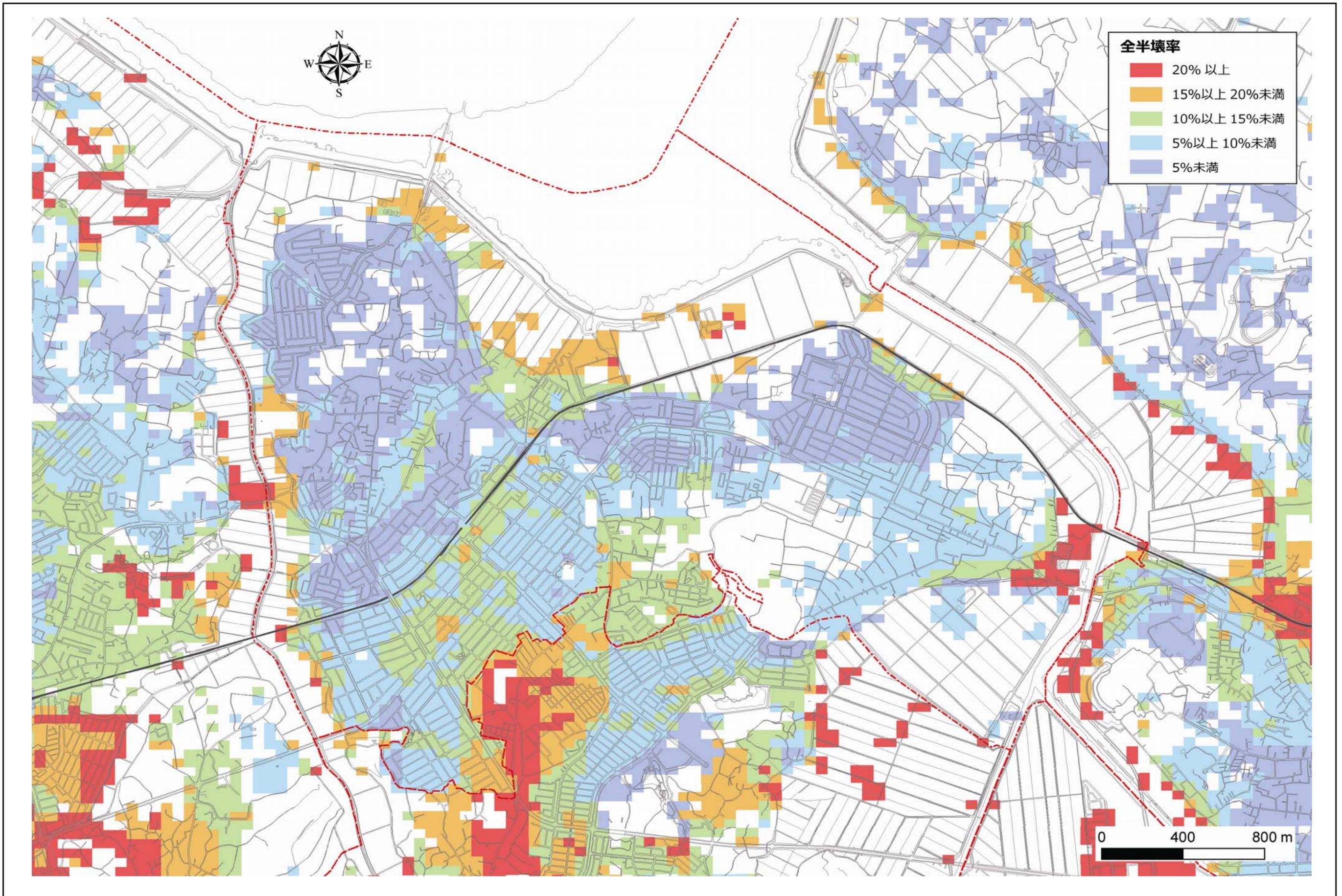


16. 防災上の課題

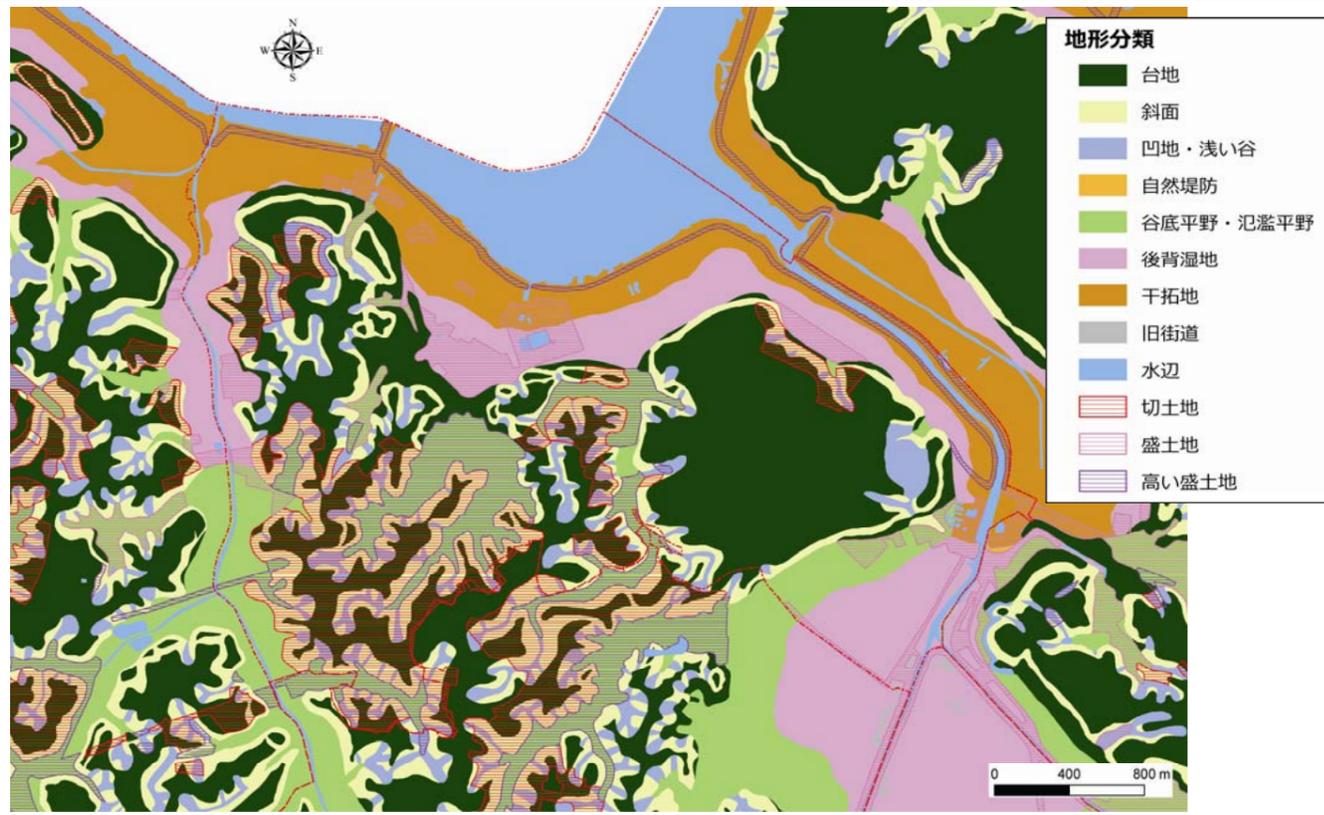
地震災害	東京湾北部地震が発生した場合、区域の揺れは震度5強から6弱と予測される。予測される建物全半壊率は7.6%と、市全体の割合よりも小さい。町丁目別では、角来および王子台3丁目においてやや高い想定となっている。
土砂災害	土砂災害危険箇所等が地区内に計42箇所(うち土砂災害警戒区域が15箇所、特別警戒区域が14箇所)指定されており、7地区中で2番目に多い計161戸において土砂災害の影響を受ける危険性がある。がけ地周辺の住家は大雨・長雨時の崖崩れに対して警戒が必要である。
避難環境	地区内の人口の12.0%にあたる3,759人の避難所生活者が発生すると予測され、避難施設の充足率が93%と100%を下回り、市全体の割合よりも低くなっている。さらに、本地区は印西市と隣接しており、災害時には本地区の避難施設に市域を超えて避難してくる可能性があるほか、帰宅困難者の徒歩通過により、避難所等の対応に支障をきたす可能性がある。

17. 防災対策の方向性

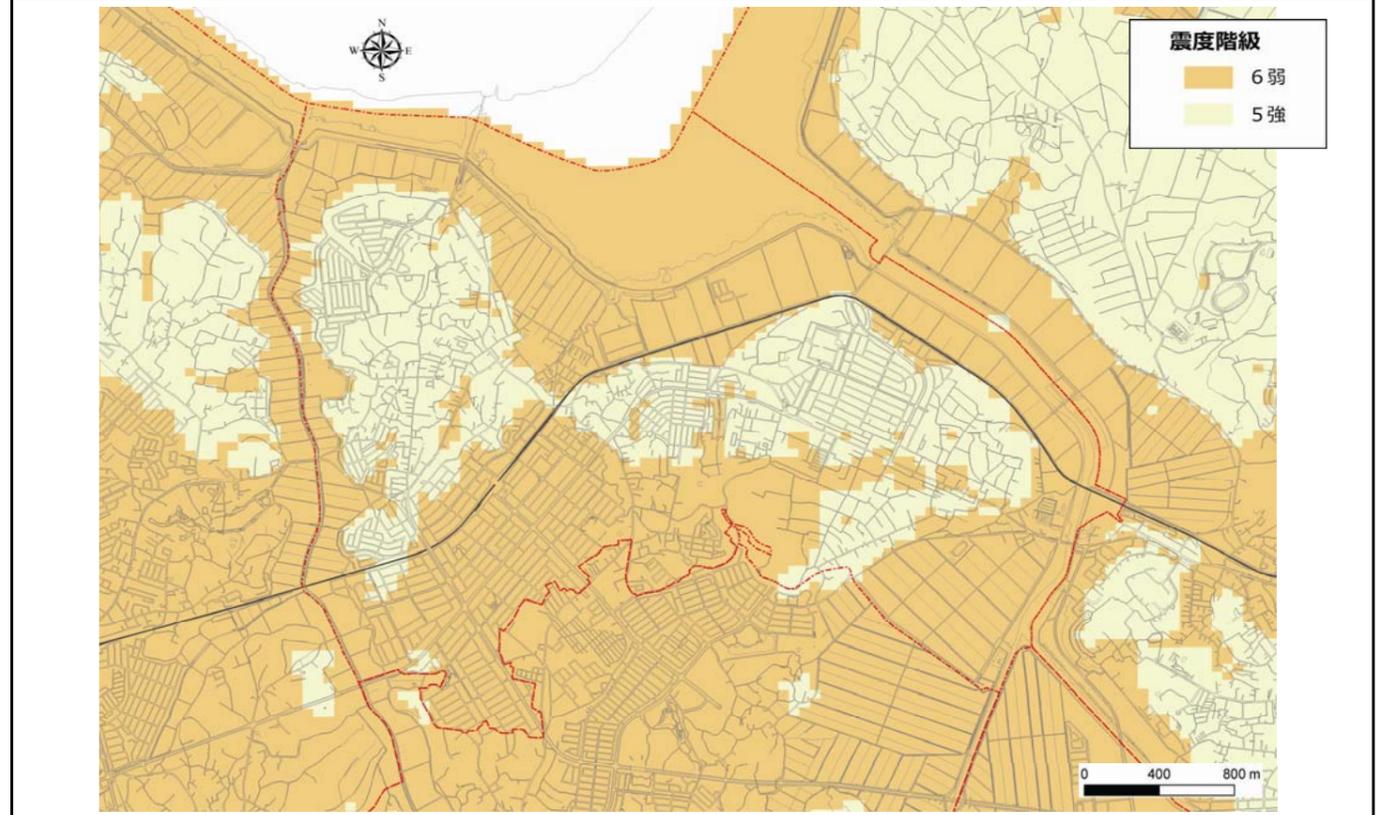
既存建築物の耐震性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■既存建築物の簡易耐震診断の啓発 新耐震基準以前に建築された建築物の住民・所有者に対して、簡易耐震診断を実施するように啓発する。 ■既存建築物の耐震診断・改修の補助 簡易耐震診断の結果から、必要に応じ、耐震改修費助成等による耐震診断・改修を促進する。
土砂災害に対する警戒・避難体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■崖崩れに対する警戒・早期避難体制の整備 降雨時の気象予警報・雨量情報を把握しながら、早期の警戒活動や避難勧告・指示の判断を行う体制を整備する。 ■防災マップ等による住民への周知 警戒区域周辺の住民が土砂災害の危険性を認識し、早めの自主避難を行うことができるように、防災マップ等による知識の普及・啓発を図る。
避難体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■避難支援体制の整備 災害時要援護者に対し、関係機関等と連携し、正確な情報を伝達し、優先的に避難誘導する体制を整える。 ■防災・減災意識の高揚 大規模地震災害による災者を抑制するためには、住宅及び地盤の耐震化が重要であることを住民に教育・啓発し、防災・減災意識の高揚を図る。また、ライフラインの途絶等に備え、家庭での水・食料や簡易トイレ等の備蓄を促進する。



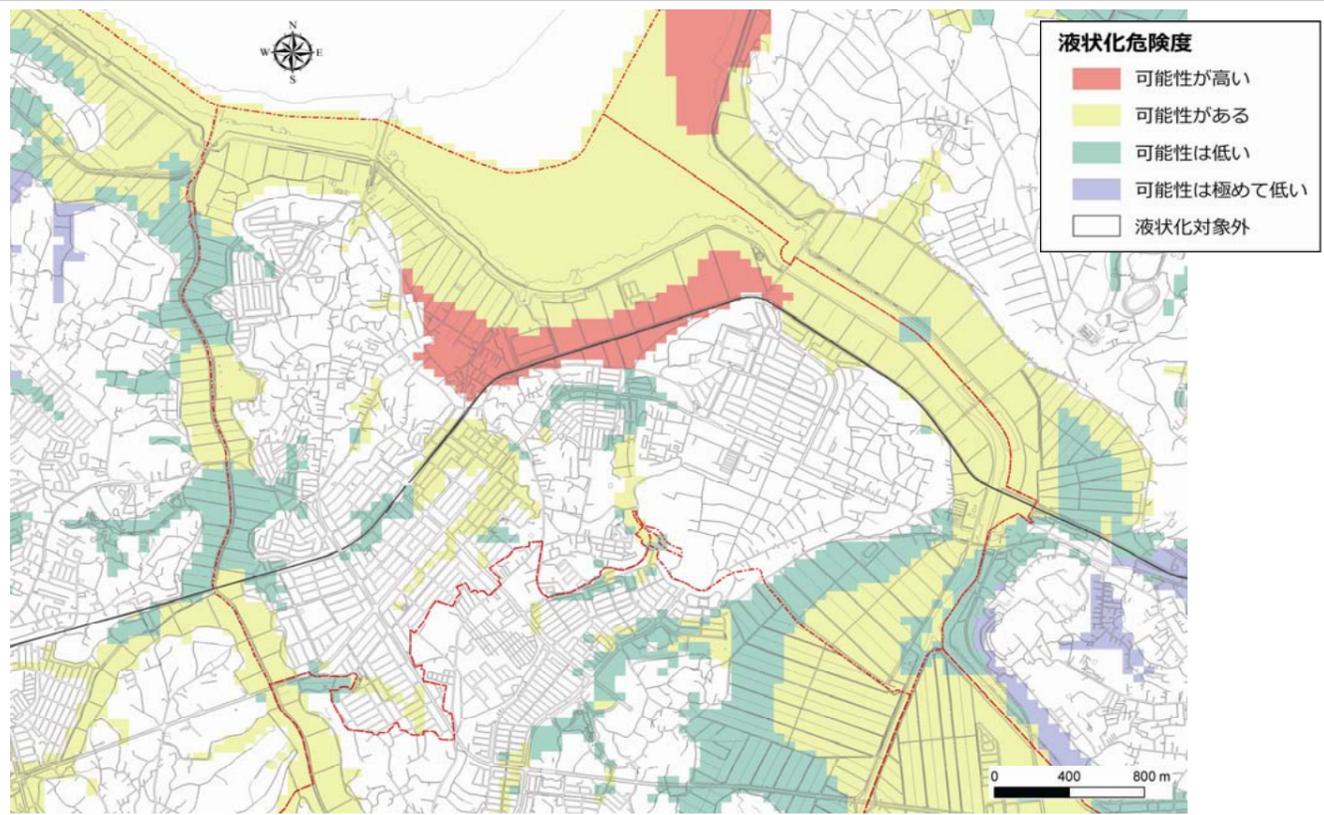
地形分類



地震動危険度



液状化危険度



土砂災害

